

自昭和十三年七月一日
至同七月廿一日

陣中日誌

步兵第九旅團

七月二十七日

曼羅南

一、警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス

二、密偵ノ報告ニ依リハ張家園子(任橋東北方六村)王庄(任橋西北方六村)附近ニ蟠居シアリ共産匪(匪首不明)約千五百ハ靈壽方向ニ移動セリト

三、及川少將及納見大佐ハ昨ニ十六日無事青島上陸ノ旨瀧口少佐ヨリ電報アリ

四、北支那方面軍參謀長ヨリ軍人 軍隊ノ對住民行爲ニ關スル注意左記ノ通り通牒アリ
方軍參ニ密第一六一號

軍人軍隊ノ對住民行爲ニ關スル注意ノ件通牒

昭和十三年六月二十七日

北支那方面軍參謀長岡部直三郎

一、軍占據地域中治安ハ徐州會戰ノ結果一時好轉セ

シヤニ着受ケラレシモ最近ニ至リ山東省方面ニ於ケル交通
線ノ復ヒ盛トナリ又北部京漢線西方地區共產遊
撃隊ノ活動ハ北京北方地區ヲ経テ從來ノ平和境
冀東方面ニ迄擴大セラル、等再ニ逆轉ノ傾向ヲ示シ
ツ、アリ、治安回復ノ前途實ニ多難ナルヲ覺エシム
ニ 治安回復ノ進捗遅々タル主ル原因ハ後方安定ニ性ス
ル兵力ノ不足ニ在ルト勿論ナルモ一面軍人及軍隊ノ
住民ニ對スル不法行爲ノ住民ノ怨嗟ヲ買ヒ反抗意
識ヲ煽リ共產抗日系分子ノ民衆煽動ノ口實
トナリ 治安工作ニ重大ナル悪影響ヲ及ホスコト甚シ
トセス

而シテ諸情報ニヨルニ斯ノ如ク強烈ナル反日意識ヲ激
成セシメ、原因ハ各所ニ於ケル日本軍人ノ強姦事件
カ全般ニ傳播シ實ニ豫想外ノ深刻ナル反日感情ヲ

釀成セルニ在リト謂フ

三 山東、河南、河北南部等ニ在ル紅槍會大刀會

及之ニ類スル自衛團體ハ古來軍隊ノ掠奪強姦

行為ニ對スル反抗熾烈ナルカ特ニ強姦ニ對シテハ各地

ノ住民一齊ニ立ケ死ヲ以テ報復スルヲ常トシアリ(昭和十三年

十月六日方面軍ヨリ配布セル紅槍會ノ習性ニ就テ参照)

從テ各地ニ頻發スル強姦ハ軍隊ノ刑法上ノ罪惡ニ留ラ

ズ治安ヲ害シ軍全般ノ作戰行動ヲ阻害シ累テ國家

ニ及ホス重大反逆行爲ト謂フ部下統率ノ責ニア

ル者ハ國軍國家ノ爲メ泣テ髮稷ヲ斬リ他人ヲシテ戒

心セシメ再ヒ斯ル行爲ノ發生ヲ絶滅スルヲ要ス若シ之ヲ

不問ニ附スル指揮官アラハ是不忠ノ臣ト謂ハサルヘカラス

若シ如ク軍人個人ノ行爲ヲ嚴重取締ルト共ニ面成ルヘク

速ニ性的慰安ノ設備ヲ整ヘ設備ノ無キタメ不本意カ

ヲ禁ヲ慢ス者無カラシムルヲ緊要トス

五

右ノ外討伐部隊カ戰鬥上ノ必要ニ基クニ非ラスレテ單ニ敵兵ノ存在セシ故ニ或ハ住民地附近ノ交通ヲ匪賊カ破壊セリトノ理由ニ依リ住民ノ家屋ヲ燒却スルカ如キ徒ニ無辜ノ住民ヲシテ自暴自棄ニ陥リ匪賊ニ投セシムル結果トナルヲ以テ住民地ノ燒却ハ嚴ニ之ヲ禁止スルヲ要ス近時各遊撃部隊ハ縣政府ヲ作リ相當組織アル行政ニ却ギアルヲ以テ討伐部隊ノ行爲住民ヲ庇護スルノ態度ニ出テサルニ於テハ住民ヲシテ曰本軍ヨリモ反テテ遊撃部隊ヲ徳トスルニ至ラシムヘシ

六

前述ノ諸項ハ從來屢々注意セシ所ナルク其徹底特ニ實行部隊タル中隊以下ニ對スル徹底十分ナラサル憾アリ此際特ニ下級部隊ハ徹底ヲ期シ信賞必罰ヲ以テ臨マレ度ク命ニ依リ通牒ス